

○第三次葉山町子ども読書活動推進計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

対応 ◎意見を反映 ○意見を今後の参考とする △記載済み・意見を反映せず

No.	ページ	意見の概要	意見に対する町の考え方	対応
全 体				
1	全体	絵に描いた餅の計画に終わることなく、ぜひ実りのある、そして子どもに限らず、利用が増えるイコール収益に繋がる、そんなコスト意識を行政職員ももつ時期に、とっくに来ているのではないのでしょうか？実効性を担保する計画を望みます。	公立図書館は図書館法の規定により無料原則のため、収益の増加につなげることはできませんが、費用対効果を勘案しながら、引き続き多くの町民の皆様にご利用いただけるよう努めてまいります。	△
第1章 子ども読書活動の意義と計画の位置づけ				
2	3、資料編	計画の対象がおおむね 18 歳以下のすべての子供を対象としているのに、アンケート調査の対象が町内の児童・生徒に限定されているのがとても安易に感じられる。中学卒業後の多感な時期を過ぎずであろう 16～18 歳以下の子供へのアプローチをぜひ、これからの計画に盛り込むべきである。（アンケート調査も含めて）	16 歳～18 歳以下の子供へのアプローチについては、16 ページ 2 図書館における読書活動の推進における取組項目 9 YA（ヤングアダルト）コーナーの充実、10 職場体験やインターンシップの受入れを掲げています。16～18 歳以下の子供への読書活動推進に関するアプローチは、いただいたご意見をふまえながら、町立図書館を通じて今後とも充実を図ってまいります。	○
第2章 第二次計画（平成 29～令和 4）における取組状況				
3	10、19	児童・生徒による自主的な読書には、放課後の図書室の開放が不可欠と考える。中休みや昼休みだけでなく、じっくり本を選べる放課後に図書室を開放できるよう、人員配置を工夫してほしい。予算的に、学校司書の勤務時間延長が無理なら、ボランティアによる開館を検討してはどうか。	学校図書館の開館については、学校の状況に応じて、教職員、学校司書、児童・生徒により行われています。 本計画において基本方針 2、3 に示すように、学校司書、ボランティア等がそれぞれの役割を担い、子どもたちが身近に本に親しむことをめざすとしています。学校図書館に関わるすべての人々により、学校図書館の利活用をさらに進めてまいります。 いただいたご意見は第4章 3-12 に含まれるものと考えており、今後の取組の参考にさせていただきます	○

第3章 計画の基本的な考え方			
4	11	「第3章 計画の基本的な考え方」「2 基本方針」の中に、子どもの読書活動に関わる人材の採用、育成、待遇の改善等の項目をぜひ盛り込んでいただきたい。基本方針には大筋で賛成するが、その執行のためには、予算の手当のみならず、人材の充実が必要である。多くの自治体で職員の非正規化が進むなかで、葉山町でも人材に対する投資を怠れば、優秀な人材の採用、育成が早晩、困難になるものと思う。ぜひ、図書館人材への継続的な投資を行っていただきたい。	<p>いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>○</p>
第4章 計画推進のための取組項目			
5	14	「第4章 計画推進のための取組項目」「2 図書館における読書活動の推進」は、おはなし会等のソフト面での取組が掲げられており、内容に異論はないが、ハード面での充実も盛り込んでいただきたい。すぐに実行可能なものとしては、図書館自体のレイアウトの工夫が掲げられている。例えば、現在は入口付近がAV資料と新聞・雑誌のコーナーとなっており、中高年の利用者が多く見受けられるが、入口付近を子どものためのコーナーにするだけでも、子どもたちにとって入りやすさの印象がかなり違う。読書活動に力を入れる小学校の図書室に行くと、入口付近にはあえてしかけ絵本や図鑑など、子どもが手に取りやすく、色彩が豊かな本を、表紙が見えるように配置する工夫をしていることがある。図書館への子どものアクセス頻度と滞在時間を伸ばすための取り組みを、ハード面からも行ってはどうかと思う。	<p>町立図書館のハード面の充実については、町立図書館を利用するすべての方に関わってまいりますので、本計画での記載は行いませんが、いただいたご意見を参考とさせていただき、子どもたちが利用しやすい環境づくりに努めてまいります。</p> <p>○</p>

6	15	<p>15 ページの 2 図書館における読書活動の推進の一項目として、11「図書館の開館時間の充実」と追加することを提案する。6 ページのイ 図書館への来館促進について、ヤングアダルト層に貸出者数が横ばい傾向にあるのは、ハード面を工夫することにより、解決できる。具体的には開館時間の延長の検討を入れるべきである。</p> <p>かつて町立図書館においては、19 時まで開館していた。18 時までの開館を見直すことにより（夏期に限らず）ヤングアダルト層、または、計画からは外れるが、社会人の利用も増加することは確実である。時差出勤などいくらでも人件費がかからない方法は可能である。</p>	<p>町立図書館の開館時間については、開館当初平日午前 9 時から午後 8 時まで、土日祝日は午前 9 時半から午後 5 時まででしたが、午後 6 時以降の利用者が少なかったことから、その後現在の開館時間に変更しています。現在でも時間帯別来館者数は、平日、土日祝日にかかわらず、14 時～16 時をピークに減少する傾向にあります。</p> <p>開館時間の延長については、今後とも町立図書館の立地条件やすべての利用者のニーズをふまえながら、検討してまいります。</p> <p>16～18 歳以下の子どもの町立図書館の利用は、学習室での自習は多いですが、図書の利用につながっていないことが課題と考えております。本計画では、YA（ヤングアダルト）コーナーの充実を図りながら、ヤングアダルト層を読書へ誘う取り組みを進めてまいります。</p>	△
その他				
7	その他	<p>そもそも、ストリーミングの時代にあって音楽ソフトやビデオソフトの利用頻度は落ちているのではないだろうか。それらは書庫に移しても良いように思う</p>	<p>ご指摘のとおり視聴覚資料の利用頻度は急速に減少傾向にあります。視聴覚資料の配架については、町立図書館において検討をしております。</p>	○